

日時
2023年 **10月21日(土)**
13:00~17:00

3D都市モデルで 防災を考えるワークショップ

会場 S.FRONT 4階会議室 (仙台市宮城野区名掛丁201-2 仙台協立第15ビル)
* 仙台駅北側連絡通路「名掛丁連絡通路」直結

対象 IT企業、まちづくりおよび防災関連で活動している企業、シビックテックプレイヤー、オープンデータの利活用に関心のある県民、自治体職員、地域団体 等

プログラム

【インプットセミナー】

- ・オープンデータの基本的な定義
- ・3D都市データ利活用の事例紹介

【クロストーク】

防災分野におけるオープンデータ利活用の可能性

【ワーク】

仮想事例でオープンデータの活用を考えるワークショップ

お申し込み方法

参加無料
要事前申込・定員40名
【締切 10/20】



下記または右の二次元
バーコードよりお申込み
フォームを開き、必要事項をご入力ください。

<https://forms.gle/53u955d6fgZpKbdCA>

ゲスト講師・テーマ



杉本直也氏
静岡県 デジタル戦略局 参事
「熱海市伊豆山土石流災害における
点群データ活用～静岡県が目指す
VIRTUALSHIZUOKA構想(仮)」



柴山明寛氏
東北大学 災害科学国際研究所
准教授 博士(工学)
「大規模災害に備えるための
デジタル社会での協働モデル(仮)」

主催 宮城県 **協力** 仙台市

お問い合わせ(事務局) エイチタス株式会社 (担当: 原、中山)

【メール】 myg_opendata@h-tus.com 【HP】 <http://htus.jp> 【TEL】 022-302-6424

お問い合わせ



—— 3D都市モデルで防災を考えるワークショップ ——

東北最大の都市、仙台を舞台に、街の防災について
あらゆる情報やデータの活用を考えるワークショップを開催します。

東日本大震災から12年半が経過し、街は復興から新たな発展へと走り続けています。しかしその一方、災害は常に私たちと隣り合わせです。近年は、地震や津波のみならず、台風や大雨などで、広い地域での土砂災害や、中心部の冠水などのリスクも身近な話題となっています。

仙台市では、オープンデータとして建物・地形の高さや建物の形状などを掛け合わせて作成した三次元の地図「3D都市モデル」を公開しています。様々な情報が組み合わされた地図を使って、仙台の防災を進化させることはできるのでしょうか。みなさんが身近に感じる危機から防災の課題を出し合い、「3D都市モデル」などのオープンデータの活用や、どのような情報やデータがあれば課題の見える化や、解決の糸口が見えるのか。ゲストを交えながら、一緒に考えてみませんか。

▼3D都市モデルについて（仙台市）



プログラム（詳細）

【インプットセミナー】
13:05-13:50

- ①オープンデータの基本的な定義
- ②3D都市データの活用事例
 - ◆静岡県 デジタル戦略局 参事 杉本直也 氏
「熱海市伊豆山土石流災害における点群データ活用
～静岡県が目指す VIRTUALSHIZUOKA構想（仮）」
 - ◆東北大学 災害科学国際研究所 准教授 博士（工学） 柴山明寛 氏
「大規模災害に備えるためのデジタル社会での協働モデル（仮）」
 - ◆仙台市 都市計画課 課長 井藤由親氏
「仙台市3D都市モデルに関する取組紹介」

【クロストーク】
13:50-14:30

- 防災分野におけるオープンデータ利活用の可能性
- ①仙台市の防災について
 - ・仙台市の防災の取組について紹介
 - ②ゲストと参加者のクロストーク
 - ・防災×データで描く防災都市仙台と官民協働への期待（仮）

【ワーク】
14:35-16:45

仮想事例でオープンデータの活用を考えるワークショップ
防災×●●をテーマに、3D都市データ利活用事例から
オープンデータの活用について考える

ゲスト講師・ファシリテーター



杉本直也氏
静岡県 デジタル戦略局 参事

土木事務所などで施工管理を経験後、「静岡県GIS」や「ふじのくにオープンデータカタログ」、「Shizuoka Point Cloud DB」の構築などを担当。静岡県全域を3Dモデル化したオープンデータ「VIRTUAL SHIZUOKA データセット」でグッドデザイン賞受賞。



柴山明寛氏
東北大学 災害科学国際研究所
准教授 博士（工学）

2011年、東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝（しんろくでん）」を立ち上げ。被災地を中心に、歴史的な災害から東日本大震災まで、様々な視点から集められた記憶、記録、事例、知見をもとに、分野横断的な研究を展開し、東日本大震災の実態の解明や復興に資する知見を提供している。



原 亮（ファシリテーター）
エイチタス株式会社
代表取締役
事業創発研究会
DigiBizみやぎ 代表理事

仙台にてITスタートアップに従事したのち、2009年、みやぎモバイルビジネス研究会設立、2014年よりGlobal Lab SENDAIコンソーシアム代表就任（現任）、2016年、エイチタス株式会社を設立。国内最大級のアイデアソン実績を持ち、地域の課題解決から企業の商品企画まで、アイデア創発を通じて幅広くサポートを展開。総務省 地域情報化アドバイザー、中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー